

現場の課題にお答えします!

学習ソフトウェア情報研究センター主催
「第33回学習デジタル教材コンクール」で
優良賞を受賞

大学院修士課程生活・健康・情報系教育コース2年の福井昌則さんが、「アクティブラーニングを促進する数学的ゲーム・パズルを題材としたiOSアプリケーション教材の開発」で受賞。福井さんは「自身で開発したアプリが評価され、とてもうれしい。今後さらに開発を行い、教育に貢献していきたい」と意欲を見せる。



岡崎渉助教が
留学生教育学会優秀論文賞を受賞

留学生教育学会が刊行している「留学生教育」第21号に掲載された研究ノート「上級日本語学習者による独話的発話の使用実態」が評価され、今年8月に受賞。岡崎渉助教は「今回の受賞を励みに、より良い日本語教育、ひいては多文化共生社会の実現のため努めていきたい」と喜びを述べた。



森山潤教授が日本産業技術教育学会の
学会賞(論文賞)を受賞

平成22(2010)年度大学院修士課程生活・健康・総合内容系コース修了生の山尾英一さんとの共著論文「工業高校生の在籍時における職業に対する自己効力感の就職後の変容に関する事例検討」が評価され、今年8月に受賞。森山潤教授は「今回の受賞を励みに、今後も技術教育の発展に資する研究を積み上げていきたい」と語った。



もり た ひろ ゆき
森田啓之
生活・健康・情報系教育コース准教授

部活動の教育課程上の位置付けについて教えてください。
また、顧問になった際に、平日や土日の活動は
どのような時間スケジュールが望まれますか。



キャンパストピックス

部活動というのは、課外との時間に同好の仲間が集まり、共通の目的に向かって自主的・自発的に課題解決に取り組む活動であり、それを教員が支援するというのが本来の姿です。したがって、「やる／やらない」は生徒自らが判断すればよいのですが、現実には生徒にとっても教員にとってもそうならないこと、最近耳にする「ブラック部活」という言葉からも明らかでしょう。「やりすぎ部活」は、生徒にとっては学業(勉強)の時間を削ることになるだけでなく、疲れが取れないまま学校生活を送ることになりますし、教員は本来の業務(正課の授業の準備等)が不十分になり、さらには家庭に対する影響も指摘されてきました。

その原因はと言うと、「学校教育の一環」と誰もが認める部活動ですが、正課の授業とは違って、課外である部活動には教科書がありませんし、教える内容が必ずしも明確になっていない点にあります。内田良(2017)が「善いことに向けての暴走」と表現するような、際限のない「やりすぎ部活」が出来上がってしまうのです。

したがって、具体的な活動の時間設定は、目の前の生徒の実態により異なってきますが、生徒にとっても教員にとっても「正課」の活動に好影響を与える、あるいは「学校生活や家庭生活に悪影響を及ぼさない」範囲・基準を、教員がまず持つ必要があると思います。そのためには、「ノー部活デー」などを各自治体が設定するという動きとともに、各学校でその範囲・基準について議論をしていかなければならないのではないかと思います。